

21世紀は生物多様性保全の時代であると言われて久しい。
日本自然保護協会は、これまでの各地の自然保護問題にかかわってきたが、それは種の保護とその生育地の保全にかかわるものであった。

今後は、種の保護に注力した活動に転じようとしており、
これまでの域内の保全だけでなく、域外の保全にも積極的に取り組み始めている。

日本植物園協会は、域外保全を先導してきたことから
日本自然保護協会は良きパートナーになりうるよう活動してゆきたいと考えている。

亀山章 (公財) 日本自然保護協会理事長 東京農工大学名誉教授

域内(本来の自生地)を守るだけでなく、
域外(植物園などの施設)での植物保護。
種の保存をするために何が必要か。
植物園が担うべき役割とは。

植物園協会とは

公益社団法人日本植物園協会は、全国の植物園で構成された団体で、昭和22年に創設された任意団体日本植物園協会を礎に、昭和41年(1966年)に社団法人日本植物園協会として設立、平成25年4月1日をもって公益社団法人に移行しました。
全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園や植物に関する文化の発展と科学技術の振興、自然環境の保全に貢献する事業を実施し、人類と自然が共生する豊かで持続的な社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

植物園協会にみなさんのご支援を

植物園協会では「ふるさとの植物を守ろう」を標語として、有用(園芸・薬用)植物を含めた、植物多様性の保全に特に力をいれて活動しています。植物園で絶滅危惧植物を育成増殖する生息域外保全ばかりでなく、園内に展示する植物やそれに関連した資料を活かした教育普及活動も進めています。こうした活動は会費収入だけではどうもまかないきれません。みなさんのご寄附が保全活動を元気にします。ご支援をよろしく願います。 ※ご寄附は税制上の優遇措置を受けることができます。

お問い合わせ：公益社団法人日本植物園協会 事務局

〒114-0014 東京都北区田端1-15-11ティーハイムアサカ201

TEL：03-5685-1431

ご寄附の振込先：郵便振替口座番号 0170-7-87815 公益社団法人 日本植物園協会



会場へのアクセス

